

# 教職大学院 NEWS

vol.20

2019.6月発行

三重大学大学院教育学研究科  
教職実践高度化専攻

## 教職大学院の授業とは？

教職大学院では日々どのような授業が行われているのでしょうか？今回は、共通科目（1年次必修）として開講されている2つの授業について、受講している院生の声とともに紹介します。

教職大学院  
授業紹介

### 授業研究方法論

毎年、授業研究にかかわるテキストを決め、それを読んでいく形態をとっています。今年度はグループディダクティカ編『深い学びを紡ぎだす』（勁草書房）を読み合わせています。「**深い学びとは何か**」という大きなテーマ（自分なりのテーマに対するアプローチを最終レポートにまとめる予定）を立て、各章をレポートをもとに議論していくやり方で読んでいます。レポーターに話題提供をしてもらい、それを広げて議論をしています。

例えば、「**アクティブ・ラーニングの自己目的化に異議あり！**」を読んだ際には、「ワンマンショーの授業で『これだ！』というのを紹介してください」と話題を設定します。紹介、説明をし合う中で、「これだ！」が持っている共通の要素（例：意外性や物語性）を確認します。大切にしていることは、「**理論と実践の往還**」です。実践現場では直観的に行われている具体的な場面における働きかけに「言葉（概念）」を付与し、その働きかけが持っている意味合いや他の場面への汎用性を明らかにするように心がけています。院生には、クルト・レヴィンの言う「よい理論ほど実践的なものはない」（1951年）を伝えたいと思っています。【担当：森脇健夫】



受講者の声

これまであまり考えることもなく使っていた言葉や授業の構成は、それぞれ意味があることがわかり、納得しながらこれまでの自分の授業を振り返っています。例えば、「めあて」と「課題」、「まとめ」と「ふり回り」の違い、深く教材解釈をすることの意味など、具体的に学んでいます。現場に戻ったら、これらを活かして授業を考えることが楽しみです。

この授業では、主に「深い学びを紡ぎだす」という本の読解を通して、そこから自分たちの疑問や興味について話し合うという形で学んでいます。その中で、「アクティブ・ラーニング」の自己目的化に疑問を投じる内容の章があったりなど、とても興味深い考え方に触れることができました。また、関連する本や研究者を森脇先生から紹介して頂けるので、とても刺激になります。

教職大学院  
授業紹介

### スクールマネジメントの理論と実践

この授業では、スクールマネジメント（学校経営）の組織論について学説史的に紹介しながら議論を深めていきます。近年の教育改革では、「カリキュラムマネジメント」、「チームとしての学校」、「コミュニティスクール」といった学校の経営と深く関わる考え方が重視されています。私は、これら**教育改革の背景にある組織や経営の理論**（および関連する諸概念）について、体系的に学びながら深く思考してもらえようという授業を目指しています。

院生の皆さんには、この授業を通じて、学校における組織的な実践や課題を様々な観点から理解するための**思考の軸**（ものの見方や考え方の拠りどころ）を鍛えてもらいたいと考えています。今年度の授業では、管理職経験のある実務家教員の先生がたがこの授業に参加しており、抽象度の高い理論と具体的な実践に関する様々な議論が飛び交うため、授業者である私自身も学びながら、一緒に楽しんでいます。【担当：織田泰幸】



受講者の声

学校経営の理論に関する基礎的・基本的な考え方を紹介してくれる授業です。授業名からは難しい印象を受けるかもしれませんが、織田先生が図や映像を用いて分かりやすく説明をし、疑問点などあれば、丁寧に資料を用いて解説してくれます。この授業を受講して、今まで感じていた学校観が多面的になりました。

苦手なものは「雑談」…そんな織田先生の授業には、無駄な時間などありません。学校経営の背景にある理論が、歴史的に論理的に経験的に積み上げられてきたんだということがわかりやすくスッキリまとまっています。そんな中にも時々、先生の好きな動画や思いがけないロックな例え話が出てくるのが楽しみです。

# 三重県の学校や地域の教育に貢献する

## 教職大学院を目指します！

三重大学教職大学院は、三重県教育委員会と連携し、初任者研修をはじめとする様々な教員研修の講師や助言者を派遣するなど、教員の資質向上に資するよう取り組みを進めています。また、教職大学院の専任教員が、その専門性を活かし、学校や地域からの要請に応じて様々な支援を行うことで、学校や地域の教育力の向上の一助になればと考えています。

### 【専任教員への講師依頼等について】

三重大学教職大学院の専任教員は10名おり、多様な専門性を有しております。ご相談等は、下記一覧表の各専任教員までメールでお願いいたします。

専任教員名	主な専門分野	支援内容
<b>市川 則文</b> (特任教授) nichire@edu.mie-u.ac.jp	教育方法・指導、学校経営、授業づくり	・小中学校の授業づくり、学級づくり等へのアドバイス (特に、社会科、生活科、総合的な学習、道徳など)
<b>織田 泰幸</b> (准教授) oday@edu.mie-u.ac.jp	教育経営学、学校組織論	・学校の組織力を高めるための基本的な考え方の講座 ・学校管理職や教師のリーダーシップについての講座 ・チームとしての学校についての講座
<b>栢森 和重</b> (准教授) kayamori@edu.mie-u.ac.jp	学校経営、学級づくり、安全・安心な学校づくり	・授業づくり、学級づくりへのアドバイス ・若手教員養成支援
<b>笹屋 孝允</b> (特任講師) tsasaya@edu.mie-u.ac.jp	教師教育、授業研究、学級経営	・校内研修、授業研究の支援 ・対話的、協同的な学習を中心とした授業づくりの提案
<b>須曾野仁志</b> (教授) susono@edu.mie-u.ac.jp	教育工(夫)学、インストラクショナルデザイン、国際理解交流教育	・アクティブラーニングや通常授業でのICT学習利用 ・学習者によるプレゼン・デジタルストーリーテリング ・反転学習や遠隔学習の支援 ・英語や様々な言語での国際交流支援
<b>瀬戸 健一</b> (教授) setoken@edu.mie-u.ac.jp	生徒指導	・教師研修(例:「生徒指導の実践モデル作成」から学ぶ教師の省察力 (教師の指導実践やあり方の振り返り) ・教師同士の協働性発揮プロセス など
<b>園部友里恵</b> (特任講師) sonobe@edu.mie-u.ac.jp	教育方法学、表現教育、演劇/ドラマ教育	・協働性、身体性などを重視した授業づくりの検討 ・コミュニケーション、チームワーク、創造性などをテーマとしたワークショップの実施
<b>田邊 正明</b> (特任教授) tanabe@edu.mie-u.ac.jp	不登校児童生徒支援、生徒指導、特別支援教育、子育て支援	・カウンセリング技法等を利用した子育てや不登校児童生徒の支援 ・LDやADHD等の発達障害児の理解啓発及び支援 ・生徒指導や特別支援教育を大切にされた学校経営の在り方
<b>三浦 洋子</b> (准教授) ymiura@edu.mie-u.ac.jp	学校経営	・教員の協働を促す学校経営についての検討 ・校内研修の活性化支援
<b>森脇 健夫</b> (教授) moriwaki@edu.mie-u.ac.jp	授業研究、教師の資質・力量研究、教師のライフヒストリー研究	・学力を育てる授業研究 ・授業づくりの7つのポイント(活用型授業とユニバーサルデザイン) ・全国学力学習状況調査の分析

## 三重大学教職大学院で一緒に学びませんか？

### 入学に関する説明・相談、随時受付中！

三重大学教職大学院では、年に数回、入学説明会を実施しています。もし、入学説明会に参加できなかった場合でも、随時、入学に関する説明を行い、相談に応じることが可能です。ご希望の場合は、下記のメールアドレスまでお問い合わせください。

## 4期生(2020年度入学)募集！ A日程入試:2019/8/19(月)

A日程入試は、学校経営力開発コース(現職教員対象)のみ実施されます。出願期間は、2019/7/11(木)～19(金)。入試の詳細は、三重大学大学院教育学研究科ウェブサイトをご覧ください。

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻(教職大学院) 広報担当

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp

三重大学教職大学院ウェブサイト <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>